

健診データを活用し 健康起因事故を防ぐ

OCHISが勉強会

運輸業界の健康対策で
事故防止を提案するNP
O法人ヘルスケアネット

ワーク(OCHIS、大
阪市、理事長・武田裕大
阪大学名誉教授)は14日、

「健診結果データの見方
&活用勉強会」(写真)を
開催し、トラックなど参
加各社の健康管理のあり
方を説明した。

この勉強会は今回で2
回目。トラックなど運輸
業界各社の運行管理者や

総務担当者らの出席希望
のあった22社から26人が
参加。社員の健康診断デ
ータの活用で事故防止に



つなげる方を無料で提
言した。今回はOCHIS
Sの作本貞子理事が日ご
ろ受診だけで終わってい
る健診結果の活用が必要
性とその効果を説き、同
黒田悦子保健師が、参加
者が持参した健診結果表
などの見方や事例を交え
てその活用方法を具体的
に説明した。

社員の健診は法律に基

づいて義務付けられてい
るものの、健診でイエロ
ーカードやレッドカード
が出されても会社による
現実的なフォローに及ん
でいないのが実情。これ
が健康起因の事故に直結
してしまっていることが

め、OCHISは社員の
健康管理で事故を未然に
防ぐことの重要性を訴え
ている。
勉強会は不定期だが、
OCHISは今後も要望
を受けて開催を検討す
る。